



# 陽光

Vol.8  
通巻 67 号

## ユーザー・メンバーの「しごと」、スタッフの「仕事」、 光風会の「志事」、そして…

「いつ活動室に掲示するんですかぁ〜？」

泉町ギャラリー「窯(Y00)」へ対応が可能な希望日に自分の名前を記入することが、ユーザー・メンバーにとっての最初の「しごと」。

「仕事はしてないけど、クラブ活動とか通院とかいろいろあって予定を入れるのが大変なんです」といった言葉に、「それが大きな『しごと』でしょうよ」といった対応をするのはスタッフの「仕事」。

「笠間焼のお店が水戸に出来てよかったというお客さんが来ましたよ」

光風会の「志事」(ミッション)は、笠間焼の発信とまちづくりへの寄与で、黄門まつりといったイベントをとおして商店会の方々とつながり、ほんの一寸前へ進みました。

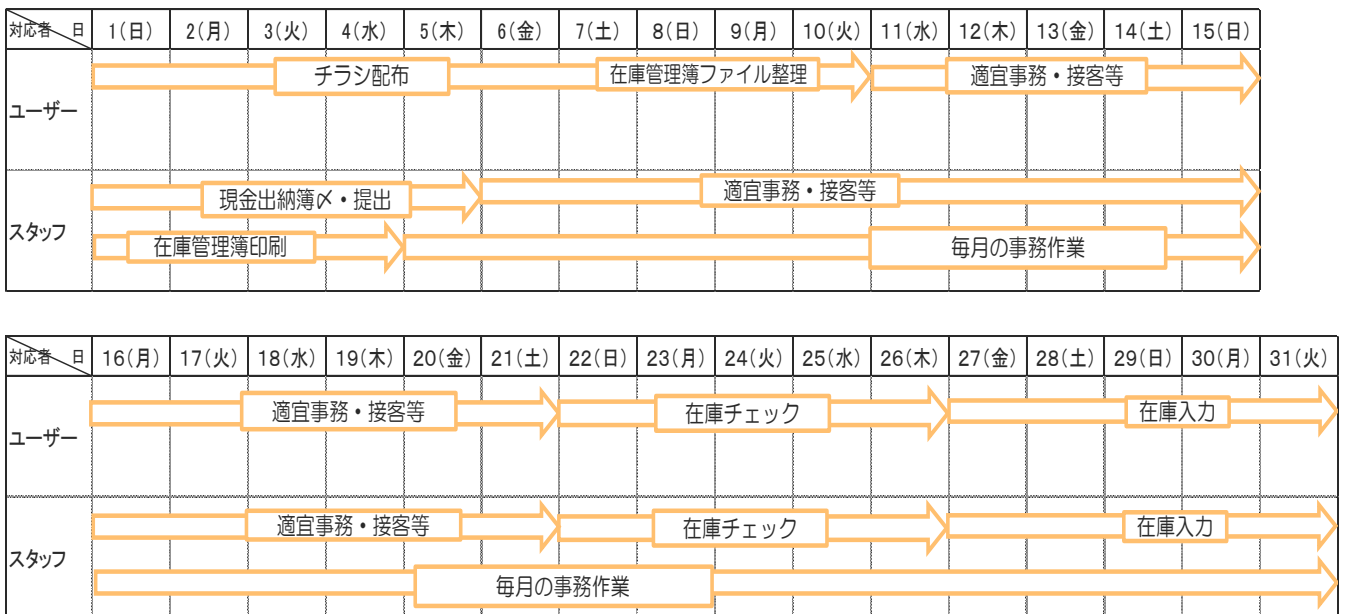
そして、地域に生きる障害者とのつながりを生むことがスタッフの「しごと」なのですが、まだ「試事」にもなっていません。

「今月のちらしはもう出来てるんですか。あの喫茶店に置いてもらったらどうでしょう？」

ユーザー・メンバーの「しごと」の方が進んでいます。

(サービス管理責任者 斎藤 悟)

図1 泉町ギャラリー「窯(Y00)」1ヶ月の流れ



※大まかな目安ですので、厳密に予定として行う必要はありません。

注) 泉町ギャラリー「窯(Y00)」掲示板に掲載されています。